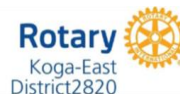




2025.4.1
環境月間

Weekly Bulletin

Vol.36



会長 柿沼利明 幹事 井上 学

Our Slogans & RI President's Theme

「仲間を増やして、強いクラブを作ろう」(古河東 RC 会長 柿沼利明)
BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”(RID2820 ガバナー 大高司郎)
「The Magic of Rotary(ロータリーのマジック)」(2024-25 年度 RI 会長 ステファニー・A・アーチック)

2025 年 4 月 1 日(火) 第2207 回例会

会員卓話 新学期にあたり
幼稚園と和裁専門学校の「今までとこれから」
三田浩市会員・佐藤孝子会員

会場:古河商工会議所3階 点鐘:12時30分

会長の時間(36) 柿沼 利明 「改めて『クラブの存続をかけた行動』」



全文はこちらからご覧ください。

<https://kogaeast.jp/?cat=9#page-content>

■2025 年 3 月 25 日・第 2206 回例会記録

◆プログラム

点鐘 会長 柿沼利明

ロータリーソング 四つのテスト (ソングリーダー:大橋みち子、オーディオ担当:須田純一)

お客様・ご来訪ロータリアンの紹介 米山奨学生 紀雪哈(キ セツカン) さん

セレモニー

(1) 記念写真撮影(紀雪哈さんの米山奨学生終了記念)

【ご挨拶】一年間のご支援と、親切に接していただきありがとうございました。私はしばらく日本におりますので、皆様との縁を保ち、色々なイベントに来ます。皆様ともっともっとお話をしたいです。この一年間、楽しかったです。ありがとうございました。



紀雪哈さんは、引き続き博士課程を継続します。
これからもどうぞ宜しくお願い！

(2) ロータリー米山記念奨学会からの委嘱状伝達

① 世話クラブの委嘱 クラブ宛

② 米山カウンセラーの委嘱 高橋采子会員宛

出席状況報告 出席委員会 副委員長 石川久

第 2206 回 (3 月 25 日) 会員数 41 名 (免除者 0 名)

／出席又は事前 Make-up 会員数 29 名／出席 70.73%

スマイル報告 スマイル委員長 古谷弘之

柿沼会長、井上幹事、山崎 PDG、石川、板橋、大谷、小倉、桑原、小林、小森谷、坂田、杉岡、須田、武澤、福田、古谷 (弘)、大橋、齊藤、酒井、佐谷、佐藤、高橋、古谷 (由)、松井 以上 24 名 54,000 円／累計 1,436,868 円／目標額・2,000,000 円／目標達成率・71.84%

▶スマイルメッセージはこちら(会員限定)

https://kogaeast.jp/?page_id=683

幹事報告 幹事 井上学 (下記参照)

点鐘 会長 柿沼利明

◆幹事報告 幹事 井上学

・米山梅吉記念館 春季例祭 4 月 19 日開催

参加申込書を後方閲覧ブースに置いてありますので、出席される方は 4/10 までに出席表へご記入ください。

◆会員卓話 「ロータリーに入ってよかった、いてよかった」

▶ 松井 実 会員 (1989(平成元)年入会)



私は入会が 1989 年(平成元年)ですから、36 年弱になりますね。38 歳の時でした。石原敬士ガバナー、第 8 代古橋邦良会長、高橋政明幹事の時期です。

当時は栃木県と合同の地区でしたので、地区大会が、鹿沼市の古峯ヶ原 (こぶがはら) にある古峯神社 (ふるみねじんじゃ) (別名:天狗の社(やしろ)) で開催され出席した覚えがあります。

入会間もなく吉田印刷の吉田さんに会報のお手伝いと言うことで指名を受け、私は、会員の皆さんのスマイルメッセージを原稿用紙に記入し、例会後に手渡し

或いは、吉田さんの会社に届け、吉田さんが他の記事と共に編集なされ、写植で印刷、配布という形でした。初めて見た印刷機、感動です。すごく懐かしき、アナログ時代でした。

1991 年第 10 代、池田清会長、坂田信夫幹事の時期には、会報委員長をおおせつかりました。何の因果か、現在も会報に接しています。

また、セブンイレブンの奈良さんが入会されたとき、彼のパソコンを利用した現況報告書の作成に会い、熱中することができました。印刷には、コンビニを利用させて頂き、半日かかりで、作成した思い出が、懐かしいです。

仕事でパソコンを使用しておりましたが、仕事以外の書類の作成や、表現方法等、いろいろと勉強になったことが、今でも、何とか社会について行けている源だと思います。

そして、引っ込み思案で暗い私が衝撃を受けたのは、山崎清司 PDG です。彼のバイタリティあふれる行動力と説得力と力強い表現力、思いやりの心を目の当たりにして、いつしか交換留学生の短期ステイを受ける羽目になってしまいました。それが縁で、山崎ファミリー、小倉ファミリー、桑原ファミリー、久野ファミリー、とお知り合いになれました。

また、2003 年には、地区の新世代奉仕委員に推挙いただき、驚きと不安の中、インターアクト委員を務めさせていただきました。ライラには、3 年続けて出席し、世代を超えた体験をさせて頂き、新鮮な感動を得ることができました。

2002 年 8 月には、桑原正信会長、柿沼利明幹事時代で、親と子のとうもろこし収穫祭、2004 年 6 月には、坂田信夫会長、柳田照子幹事の時代、親と子のじゃがいも収穫祭イベントがあり、プチ農業体験をすることができ、種まき、植え付け、除草、収穫とありがたい経験をさせて頂き、その上に収穫物を知人にお配りして大きな笑顔を戴く事もできました。

2007 年 1 月福富好一会長、内田治彦幹事の時、古河地区ローターアクトクラブの認証状伝達式が挙行されましたが、これには小森谷久雄会員の多大なるご支援をいただきました。RI 登録やクラブ運営資料、式典開催に向けた資料等、諸々の資料の作成、整理等を担われており、感服いたしました。

2010 年 5 月には、私が会長、荒木攻幹事の時、山崎清司ガバナーエレクト発案の「古河英語カルタ」企画がスタートしました。

2010年7月には、高橋采子会長、海老沼堯幹事になり、例会場が常陽銀行から古河商工会議所に変更しました。その頃の例会では、毎週、トミー植松さんのワンポイント太極拳があり、楽しかったです。

他にも沢山有りますが、2003年(平成15年)11月1日(土)、11月2日(日)古河絵手紙の会のご協力の下、よかんべ祭りにおける、第1回の絵手紙展及び絵手紙体験会が強く印象にあります。あの時以来コロナ期を除いて、現在まで継続されておりますことは、楽しみであり、誇りでもあります。風船作り、綿あめ作り、すべてに。

これからも、何が体験できるかと楽しみです。

▶ 山崎 清司 会員 (1991(平成3)年入会・第2820地区パストガバナー(2010-2011年度))



ガバナー年度の思い出 私がガバナーを務めた年度は、坂田信夫・地区幹事、桑原正信・会計長はじめ会員諸氏がセクレタリーとして公式訪問に同行いただき、無事終了することが出来ました。本当にありがとうございました。皆様のご協力なくしては絶対にできなかったことです。ところが一息ついた3月11日、東日本大震災に遭遇し、当事務所も大混乱におちいりました。しかし坂田地区幹事、池田清地区大会実行委員長が中心となり、地区大会の中止案内をRI会長代理はじめ関係者・関係機関へ素早く連絡並びに事後処理をしていただきました。また全国から多くの義援金や支援物資の分配等、会員諸氏が手分けして地区内被災地、県外被災地へ配達していただき感謝に堪えません。

そのうえ5月、米国・ニューオーリンズの国際大会には多数の会員が参加していただきました。帰路ペルーでマチュピチュの遺跡やナスカの地上絵、チチカカ湖など観光したのは生涯の思い出でした。

入会動機 さて、私は30代のころから育児放棄、家族放棄、職場放棄をしながら海外旅行をしていました。アフリカと中東は未訪問でしたので「いつかは」という気持ちでした。とある日、新聞にアフリカのモロッ

コ・カサブランカ特派員のコラムが掲載されました。そこには帰国するので3年間の家財をガレージセールで完売したとありました。「これだ」と私も子供の古着やおもちゃをリュックに詰めてモロッコに飛びました。そしてフェズのスクーク(市場)で大騒ぎになりましたが、ムートンの毛皮と物々交換することが出来ました。味をしめた翌年、隣国・チュニジアに女房を連れて大きなリュックに古着、おもちゃ、ガラクタ品を詰め込んで出かけました。現地で小さなレンタカーを借り、田舎道を走っているときのことでした。みすぼらしい5歳ぐらいの男の子が3歳ぐらいの妹の手をひいて歩いているところに出くわしました。女の子は裸足でパンツもはいていません。それを見た私はすぐ引き返し、その兄・妹に古着を差し出しました。すると、これを見た集落の人々がワ〜と駆け寄ってきたのです。その輪がどんどん膨れ上がり恐怖を感じた私たちは、持参した品物をぶん投げてその場を離れました。その時から、私は将来、国際ボランティアに参加したいなと漠然と考えるようになりました。それから9年後の50歳のとき、行きつけの中華料理店「瑞鳳」の清水正司さんから入会を勧められました。清水さんとは同郷の高崎人であり、またロータリーが国際ボランティア組織であることは知っていましたので、3秒で入会すると答えました。

会報熱中 入会時の会場は常陽銀行古河支店3階でした。親睦委員会に配属され、役目はお茶くみです。私はこれを好機ととらえ、着席した会員にすばやくお茶を届けながら名札を見ましたので、3か月で全員の名前とキャラを知ることが出来ました。会長は池田清さん。恰幅のいい男でダブルの背広など着込み、背は低かったのですがいい男でした。映画にも出たとかでマルベル堂のプロマイド写真を一枚いただきました。話上手で聞くと明治大学の弁論部にいたとか、政治家の応援演説に行ったとか話していました。

幹事は坂田信夫さんでした。長身で白髪、鼻の下にちょび髭をはやし、声がでかく威圧感がありました。それより怖かった会員が数人いました。うす茶色のサングラスをかけて薬指に大きく盛り上がったきんきら金の指輪をしている人もいて、目の前の席で食事になったとき、恐怖心で、飯が喉を通りませんでした。その他、着流しスタイルで俳優のような人、大声で怒鳴る人、「たばこをやめろ」と灰皿が飛びそうな人等、人間動物園でした。だんだん慣れてきたとき、会員諸氏から会報委員と増強委員はやりたくない会員が多い

ることに気がつきました。「それなら皆が嫌がる会報をまずやってみよう」と思い、志願して翌年の小山年度から自費で個人会報を発行し配布する決意をしました。会報はクラブの語り部であり歴史書です。当時を知るよすがは、会報しかありません。当時のクラブ会報は紙一枚、会長の話、幹事報告、委員会報告、卓話のまとめもなく、わずかメイク者名とスマイル報告という寂しくお粗末なものでした。

そこで私は毎例会テーブルコーダーを持ち込み録音し、ロータリー用語のわからない箇所は先輩に聞き訂正し、また地区の勉強会資料を参考に会報を作りました。そして会長の話、幹事報告、委員会報告、卓話等

例会の流れを作りました。また会員の海外旅行記、結婚へのなれそめ、年度の10大ニュース、大相撲の優勝者や三賞の予想、プロ野球優勝チームの予想、当たるとリポビタンDやガソリン券の贈呈、川柳、戯曲等軽い話題も入れました。またプリントゴッコで会員子弟や孫の描いた絵など挿入し色どりを添えました。これによって会員との人的交流も進みました。私は数年の会報制作によりロータリー知見の向上とワープロの技術向上という大きな財産を得ました。

これはロータリーに入ったからできたことであり「入ってよかったロータリー」の一例です。

■今後の予定

日程	会場	内容
第2208回例会 4月8日(火)	ホテル山水	移動例会 小山南ロータリークラブとの合同例会&交流会 ホテル山水 18時点鐘
第2209回例会 4月15日(火)	古河商工会議所 3F	お客様卓話「環境月間」に因み 「利根川及び渡良瀬遊水地の河川環境について」 利根川上流河川事務所 流域治水課 課長 大島様
第2210回例会 4月22日(火)	古河商工会議所 3F	会員卓話 「ロータリーに入ってよかった、いてよかった」 高橋采子会員、猪瀬一也会員 【「ロータリーの目的」唱和】
第2211回例会 4月29日(火)	-	第5週につき法定休会
地区行事等		
4/13(日)	地区研修協議会(DTA)つくば国際会議場	
4/15(火)	地区ゴルフ大会	
6/8(日)	第2回会長・幹事会	
6/21(土)~25(水)	国際大会(カルガリー)	
6/22(日)	クラブ活性化セミナー(旧会員基盤向上セミナー)	

■会員向け連絡先

例会欠席時のご連絡先 kesseki.rnrk@gmail.com 又は 杉岡 S A A まで

週報原稿のご送付先 kogaeast.newsletter.2425@gmail.com 又は 齊藤まで

■当クラブへのお問い合わせ先(24-25年度)

〒306-0631 茨城県坂東市岩井 4709 番地 柿沼利明税理士事務所内

事務局電話：0297-36-2553 事務局 FAX：0297-34-1118

メール：aam52570@nyc.odn.ne.jp

<文責>古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会(齊藤、佐谷、松井、小森谷、大谷)



創立 1982 年 7 月 6 日 例会日：火曜 12 時 30 分～13 時 30 分

例会場：古河商工会議所(古河市鴻巣 1189-4) 例会場電話：0280-48-6000 例会場 FAX：0280-48-6006

<https://kogaeast.jp>